

# さくらだより [20号]

2012年6月2日発行

登山や山歩きは男女を問わず中高年の人達の間でブームになっています。おしゃれな服装を身にまとった山ガールといわれている若い女性も増加しているようです。春山なのに軽装で登山をし、低体温で死亡したグループも話題になりましたが、結構な高齢の人が登山をしているのだと新聞でみて少々びっくりしました。山登りの快感とは何なのでしょう。山登りは街の中を歩くのと違って地面の凹凸を上手に避けながら一步一步注意深く足を動かす動作の繰り返しです。

考えること、歩くこと、登ることは前頭前野が働いて行われると最近の脳科学ではいわれています。山登りではその前頭前野がたくさん働いていて、勉強するより多くの神経細胞が働くのだそうです。山頂について景色が綺麗に見えるのも、前頭前野が「綺麗」と判断しているからだそうです。

また一方で、頂上に着いた時の達成感は大脳基底核にある線条1体の側座核が働いて快感が生まれているのです。側座核は脳の快感発生中枢で、おいしい食べ物、セックス、麻薬、人にほめられた時、大声で笑った時、試験で一番になった時、など快感がある時に働いています。山登りは前頭前野を刺激し、多くの神経細胞を働かせ、しかも快感を得られ気持ちよくなるため“やみつきになる”のでしょうか。週1回3時間の山登りを3ヶ月続けると、前頭前野の容量が増し、よく働くようになり賢くなるようです。今ごろ後悔しても遅いですが、もっと早く知っていれば、うちの愚息たちの成績向上につながったかも……。

## 2012年度1月～4月のARTの成績を報告いたします。

採卵件数・・・144例【～29歳5例、30～34歳19例、35～39歳61例、40歳～59例】

受精方法別  
┌ 体外受精・・・109例  
└ 顕微授精・・・31例

融解件数・・・114例【～29歳5例、30～34歳14例、35～39歳65例、40歳～30例】

移植件数・・・113例【～29歳5例、30～34歳18例、35～39歳64例、40歳～26例】

妊娠数・妊娠率（移植あたりの胎嚢陽性率）・・・28例(24.8%)

【～29歳3例(60.0%)、30～34歳6例(33.3%)、  
35～39歳17例(26.6%)、40歳～2例(7.7%)】

今回は40歳以上の症例、特に43歳以上の例が多かったので妊娠率が下がりました。初期胚移植を増やしたことも原因の1つです。日々努力いたします。